

# 誤植の殿堂『説日語』

— その誕生と変遷（十二）

こく ぶ けん じ  
國 分 建 志

## 1. はじめに

風来坊本②をはじめとするf系海賊版『説日語』の例文・例語には正規版に由来するものと出典不明のものが混在しているが、前稿（國分 2022）では正規版由来のものが西北版の前身である陝西版にもとづき、特にその実質的な「増補版」から流用していることを明らかにした。また陝西版由来の例文・例語が全編にわたって見られ、元の表現との間に異同があることや、一方、出典不明の例文・例語は一部の章に偏って配置され、そこには陝西版にはない語句が新たに盛り込まれ、中には現在では死語となった言葉も見られることなどを指摘した。

本稿では引き続きこのf系海賊版を取り上げ、例文・例語につけられたルビや中国語訳の特徴を探りたいと思う。

## 2. f系のルビの特徴

上述のようにf系の本文は出典不明の例文・例語を含む章と含まない章とに大別できるが、両者はルビの振り方にも違いがあり、特に前者には陝西版とは異なる特徴が多く認められる。そこで以下、前者を出典不明の例文・例語と陝西版由来のそれとの「混成部分」（第1～10章（p. 1～p. 110）。ただし第2章後半（p. 17～p. 60）を除く）と呼び、後者をもっぱら陝西版にもとづく「流用部分」（第2章後半および第11～17章（p. 111～p. 225））と呼び区別しておく。

### 2.1. f系特有のルビ用漢字

f系のルビに見られる特徴の一つとして、混成部分を中心に陝西版とは異なる字が数多く使われている点を挙げるができる。例をいくつか挙げると以下の通りである<sup>(1)</sup>。

以 yǐ: イ, 哀 āi: エ, 沓 gā: ガ, 哭 kū: ク, 飒 sà: サ, 死 sǐ: ス, 它 tā: タ, 苔 tái: テ, 涛 tāo: ト, 娜 nà: ナ, 妮 nī: ニ, 米 mǐ: ミ, 猫 māo: モ, 瓦 wǎ: ワ

また陝西版にあまり見られない字がf系で盛んに使われている場合もある。例えば“七 qī” (チ) は陝西版には2例しかないが, f系では28例に増えている (混成部分に27例, 流用部分に1例)<sup>(2)</sup>。

逆に混成部分では使われない字もある。例えば“医 yī” (イ) は合成ルビ (“克医” (キ) 等) も含めて流用部分にはよく現れるが, 混成部分ではまったく見られない。また次のように“医”をほかの字に書き換えている箇所もある<sup>(3)</sup>。

医拉夏医妈塞 (いらっしゃいませ。陝西 p.119)

→以拉 (空一拍) 夏衣妈塞。(いらつぜませ f系 p.79)

この例で“医”と“衣”は同音だが, こうした同音字への書き換えはほかの字でも見られる。一方“以 yǐ”は“医”より低く発音される。“以”の用例 (混成部分に25例) を調べると, すべて低音の「イ」に対して使われており, この書き換えは例文のアクセントに合わせたものと思われる。

また“丝 sī” (ス) は混成部分冒頭の2ページに3例見られるものの, その後は流用部分にしか現れない。なお後述するが“丝”はほかの字へ頻繁に書き換えられている。

## 2.2. アルファベットやピンインの使用

國分2011で指摘したようにf系テキストではアルファベットやピンイン (中国式表音ローマ字) をルビとして用いている。以下に示すものがあり, みな混成部分に現れる。

kī·kī·kī: キ, kin: キン, kēn: ケン, xiáo: ショー, dēn: デン, nàn: ナン, hī: ヒ・ヒー, B: ビー, lāi: レ

kī, kī, kēn, xiáo, dēn, nàn, lāi はピンイン方式のルビと言えるが, xiáo と nàn 以外は普通話 (標準中国語) には存在しない音節で, ルビ用に新たに作ったものである。

またアルファベットやピンインをルビに用いる際, 以下のように単独で用いる場合と, 漢字ルビと併記する場合がある。

### 単独で用いる例

你哄咖拉 (kī) 它孛呆斯。(日本から来たのです p.4)

哭考哀衣 kī 妈斯。(空港へ行きます p.67)

刀来沓、死 ki 呆斯咖。(どれがすきですか。p.81)

栽 kin 噢, 哈拉乌。(税金を払う p.110)

考 hī (コーヒー p.91)

B 鲁 (ビール p.91)

#### 漢字ルビと併記する例<sup>(4)</sup>

啊娜它孛，休咪哇难 nán 呆斯咖。(あなたの趣味はなんですか p.13)

この例ではまず漢字ルビの“难”で「ナン」を表している。しかし“难”には声調が異なる二つの音 nán (上昇調) と nán (下降調) があり、前者では「ナン」の正しいアクセント (高低) にならない。そこで漢字ルビに後者のピンインを併記したのであろう。

次の例では漢字本来の発音とピンインの発音が異なっている。

小 (xiǎo) 肯 (kēn) 沓一夏妮，疵涛麦苔一妈斯。(証券会社に勤めています p.11)

「証券」(証券) の漢字ルビ“小肯”は本来 xiǎokēn と発音するが<sup>(5)</sup>、xiǎokēn と声調を変えることで日本語の「証券(会社)」のアクセント (低高高高) に合わせている。

次の例では漢字本来の音から母音を変えている。

吨 (dēn) 哇拌告哇，难 (nàn) 办呆斯咖。(電話番号はなんぼんですか p.12)

「电(話)」(電(話)) のルビ“吨”は本来 dūn と発音するが、これを dēn に変えることで日本語に近づけようとしている<sup>(6)</sup>。

次に挙げるのは漢字本来の発音から声調を変えたものの、日本語のアクセントと合わないケースである。

乃 (停一拍) 哭来 (lāi) 斯 (ネックレス [ネックレス] p.85)

「レ」のルビ“来”は本来 lái (上昇調) と読む。それをピンインでは lái (高く平らな調子) に変えているが、ネックレスの「レ」は低音なので実際の発音と合わない。これが声調記号の誤植なのか、編者が「ネックレス」のアクセントを誤解していたのかは分からない。

以上四つの例から、混成部分ではピンインを活用することにより日本語の発音をアクセントまで含めてなるべく忠実に写そうと工夫した様子がうかがえる。ただしアクセントに関しては正確さに欠ける面もあったようである。

### 2.3. 「キ」のルビの変遷

中国語には「キ」に相当する音節がない。そこで正規版では合成ルビ“克医 kè + yī”を使うことが多く、f系も流用部分ではこれを踏襲しているが、混成部分では“可以 kě + yī”, kī, kī, kī で表している。この4種におそらく区別はないが、使用箇所を見ると以下のように本文中で順番に現れている<sup>(7)</sup>。

可以 : p. 4

kī : p. 4, 5, 6, 10, 13

kī : p. 62, 64, 65, 67, 68, 69, 72, 74

kī : p. 81, 82, 86, 91, 98, 100, 103, 104, 110

「キ」のルビのこうした分布から、混成部分の成立について次の二つのことが推測できるのではないだろうか。

①ルビの表記法は初めからすべて決まっていたわけではなく、ルビを振る過程で試行錯誤しながら変えていったものもある。その一方であとから全体を見渡して表記を統一しようとまではしなかった。

②ルビを振る前の段階で例文・例語の配列はおおよそ定まっていた。もし個々の例文・例語にバラバラにルビを振ってから配列を決めたのだとしたら、4種のルビはもっと混在していてもおかしくないからである。

#### 2.4. ガ行鼻濁音の表記

國分 2013 では、正規版とりわけ陝西版ではガ行音に対して西安方言で声母が [ŋ] になる字や普通話で声母が n の字をルビにあてる現象が見られ、どちらもガ行鼻濁音を表そうとしたのではないかと推測した。f 系の混成部分にこうしたルビはほとんど見られないが、流用部分には引き継がれている。

##### 西安方言で [ŋ] を持つ字の使用例

医咖鵝阿 (いかが p. 34)

尼咖挨慈西咖, 阿里马塞恩 (二个月しかありません。p. 35)

嗖一埃恩 (草原 p. 185)

“鵝 é” “挨 āi” “埃 āi” はいずれも普通話ではゼロ声母 (= 声母を持たない) であるが、西安方言では声母に [ŋ] を持つ。これらの字の使用が f 系の編者も西安方言話者だったことを意味するのか、あるいは編者が陝西版のルビをよく吟味せずに流用しただけなのか、現段階では不明である。

##### 声母 n の字の使用例

叨考妮, 旦一哇呐, 啊利马丝咖。(どこにでんわがありますか。p. 119)

黑大里 (咪给) 挨马纳鲁鲁代思。(左 (右) へまがるのです。p. 129)

闹一鸟一 (农业 (農業) p. 184)

漢字音から見れば“呐 nà” “纳 nà” は「ナ」を“鸟 niǎo” は「ニョ」を表すのが自然であるが、上例ではこれらの字を鼻濁音の「ガ」「ギョ」に対して用いている。

一方混成部分には次の 1 例がある。

米尼尼, 马昏炉涛, 斯咕米哀妈斯。(右に曲がるとすぐ見えます p. 65)

このように“尼 ní” (ニ) で鼻濁音の「ギ」を表す例は正規版にはない。

なお混成部分に“昏 gā” への書き換えが 1 例ある。

乃次呐啊哩吗丝咖 (熱がありますか。陝西 p. 168)

→乃疵<sub>フ</sub>咎、啊哩妈斯咖（熱がありすか。f系 p.97）

## 2.5. 促音の表記

促音「っ」は流用部分では陝西版に倣い“×”で表すことが多いが、混成部分では“（空一拍）”や“（停一拍）”（「1拍空ける・止める」の意）と注記し，“×”は使わない。

“（空一拍）”と“（停一拍）”の間に使い分けは見いだせないが，“（空一拍）”は最初に11例現れ、その後は“（停一拍）”が9例続き、その後は両者が混在して現れる（“（空一拍）”10例，“（停一拍）”3例）。上述の「キ」のルビの変遷と同様、促音についても編集の過程で表記を変えていった可能性がある。

## 2.6. 長音の表記

正規版では長音は原則として“ー”で表し、f系流用部分もこれを踏襲しているが<sup>(8)</sup>、混成部分ではまったく用いられず、基本的に一つの漢字で長音も短音も表す。例えば以下のようなものがある。

开 kāi 「ケー」と「ケ」、斯 sī 「スー」と「ス」

斯疵开斯噢 啊开苔苦搭飒一。（スーツケースをあけてください p.109）

纠 jiū 「ジュー」と「ジュ」

〔三纠跟呆斯。（三十元です p.68）  
〔行纠哭呆斯。（新宿です p.63）

涛 tāo 「トー」と「ト」

噢涛涛（おとうと p.15）

炉 lú 「ルー」と「ル」

〔炉目萨逼斯。（ルームサービス p.107）  
〔西炉哭（シルク p.85）

hi 「ヒー」と「ヒ」

〔考 hī （コーヒー p.91）  
〔hī 涛疵、苦搭飒衣。（一〔一〕つくたさい。p.80）

漢字ルビで長音を表記する場合もある。

噢爸啊丧「オバアサン」（おばあさん p.16）

ki 衣苔「キイテ」（聞いて p.103）

抚呆刀开衣。「フ〔ウ〕デドケイ」（腕時計 p.84）

消噢优「ショオユ」（はうゆ（醤油）p.92）

この表記を外来語に適用した例もある。

斯卡啊涛「スカアト」(スカート p.84)

塞衣它啊「セイタア」(ヤーター [セーター] p.84)

开衣 ki「ケイキ」(ケーキ p.91)

外来語の「セー」「ケー」は通常「エ」を伸ばして発音するので、上記のルビは実際の発音と合わない。

特殊な例として、長音をその次の拍とまとめて一文字で表したものがある。

以爷「イイエ」(いいえ p.2, 63)

このルビでは“以 yǐ”が「イ」を、“爷 yé”が「イエ」を表している。

## 2.7. 撥音の表記

國分 2013 で指摘したように正規版では撥音「ン」に5通りの表記法がある(合成ルビ線は割愛する)。

① -n / -ng 韻尾を持たない1字 + “恩 ēn”

考恩 kǎo + ēn : コン

② -n / -ng 韻尾を持つ1字を用いる。

林 lín : リン, 痛 tòng : トン

③ ② + “一”

辛 xīn一 : シン, 送 sòng一 : ソン

④ ② + “恩”

印恩 yìn + ēn : イン, 呛恩 qiàng + ēn : チャン

⑤ その他の合成ルビ

克因 kè + yīn : キン, 给银 gěi + yín : ギン

いずれも「ン」1音だけではなく、その前の1拍を含めた2拍分をひとまとめにしてルビを振っている。

混成部分では主に③以外の4種類が観察される<sup>(9)</sup>。最も多いのが②で、次いで①がよく用いられ、陝西版で①が最も多く②がそれに次ぐのとは逆の傾向を示している。以下に全種類を示すが、陝西版にはなかった表記が新たに多数使われていることが分かる(陝西版にも見られる字には\*をつける)<sup>(10)</sup>。

①开 kāi 恩\* : ケン, 萨 sà 恩\* : サン, 太 tài 恩\*・特 tè 恩 : テン, 得 dé 恩 : デン, 耐 nài 恩\* : ネン, 闹 nào 恩 : ノン, 巴 bā 恩 : バン, 怕 pà 恩\* : パン, 夫 fū 恩 : フン, 不 bù 恩 : ブン, 扑 pū 恩 : プン・プーン, 浩 hào 恩 : ホン, 麦 mài 恩\* : マン・メン, 捞 lāo 恩 : ロン

②安\* ān : アン, 印\* yìn・迎 yíng : イン, 恩\* ēn : エン, 喻 wēng : オン, 堪 kān・

看\* kǎn : カン, 肯\* (kēn) : ケン, 根 gēn · 跟 gēn : ゲン, 空\* kōng : コン, 三\* sān · 喪 sāng · 桑\* sāng : サン, 行 xíng · 兴 xìng : シン, 京 jīng · 静 jìng : ジン, 渗 shèn : スン · セン, 怎 zěn : ゼン, 吨 (dēn) : デン, 难\* nán : ナン, 宁\* nìng : ニン, 汉\* hàn : ハン, 般 bān · 办 bàn · 拌 bàn : バン, 并\* bìng · 病\* bìng : ビン, 哄 hōng · 轰 hōng : ホン, 泵 bèng : ボン, 民\* mín : ミン, 门 mén · 面 miàn : メン, 用 yòng : ヨン

③該当例なし

④怎 zěn 恩 : ゼン

⑤格阴 gé yīn : ギン, き 恩 : キン

上記のうち“扑恩”“麦恩”“渗”はそれぞれ二つの音を表す。これらに関して少し補足すると、まず“扑恩”については、上述のように混成部分では長音記号を用いないので、長短2通りの読み方で使われている(各1例ある)。

次に“麦恩”については、正規版でも海賊版でもエ段音のルビには韻母が ai の字を多くあてる原則からすれば「メン」と読むべきだが、実際は「メン」(1例)より「マン」(4例)の方が使用数が多い。以下に用例を挙げる。

#### 「マン」の例

一七麦恩 (いちまん p. 71)

乌噢哭麦恩 (ウオクマニ [ウォークマン] p. 85)

#### 「メン」の例

麦恩裁 (免税 p. 110)

また“渗”は基本的に「セン」を表すが、次の例だけ「スン」として用いている。

你西脑, 靠昏一妮, 渗呆一妈斯。(西の郊外に住んでいます p. 12)

ただしこれは「住ん」を「セン」と誤読した可能性もある。

## 2.8. 陝西版からの書き換え

先にも少し触れたように f 系では陝西版から例文・例語を流用する際にルビに対して書き換えを行っている<sup>(11)</sup>。書き換えは混成部分にも流用部分にも見られるが、その方法は両者で異なっている。書き換え件数が最も多いのは“噢 ō” → “奥 ào” (オ) の 65 例で、すべて流用部分に見られる<sup>(12)</sup>。例えば次のようなものがある。

掏秋闹, 高木机奥, 噢衣舜哩西吗丝 (途中のご無事をお祈りします。陝西 p. 22)

→ 掏秋闹, 高木机奥, 奥衣舜哩西吗丝。(途中のご無事をお祈りします。f 系 p. 27)

なお“噢”がすべて“奥”に書き換えられているわけではない。例えば次の例は上の例文と同じページにあり表現もよく似ているが、こちらの“噢”はそのままになっている。

高靠一夫枯噢，噢衣闹哩西吗丝（御幸福をお祈りします。陝西 p.22）  
 →高靠一夫枯噢，噢衣闹哩西吗丝。（御幸福をお祈りします。f系 p.27）  
 また混成部分には上例とは逆方向の書き換えもある（計2例）。

代恩哇奥，卡开鲁（電話を挂ける。陝西 p.160）  
 →得恩哇奥卡开炉（电话をかける f系 p.101）  
 こうして見ると書き換えにはあまり一貫性がないようにも見える。  
 また陝西版のある字が混成部分と流用部分とで別々の字に書き換えられる場合もある。  
 例えば前述の“丝 sī”（ス）は次のように双方で異なる書き換えがされている。

丝→思 sī：25例（すべて流用部分）

噢丝吗衣哇，刀企拉代丝咖（おすまいはどちらですか。陝西 p.77）  
 →奥思马衣哇，刀企拉代思咖。（おすまいはどちらですか。f系 p.118）

丝→斯 sī：14例（混成部分13例，流用部分1例）

噢丝吗衣哇，刀企拉代丝咖（おすまいはどちらですか。陝西 p.77）  
 →噢斯妈一哇，刀七拉斯咖。（おすまいはどちらですか f系 p.11）

丝→死 sǐ：2例（混成部分）

丝咪吗塞恩（すみません。陝西 p.8）→死咪妈渗。（すみません f系 p.3）  
 “丝”“思”“斯”は同音字であるが，“斯”は音訳された外来語によく用いられるので、  
 読者にとってより馴染みのある字に変えた可能性がある<sup>(13)</sup>。また“丝”→“死”の書き  
 換えは、先述の“医”→“以”と同様、日本語のアクセントに合わせようとしたものよ  
 うである。

このように同じ字が混成部分と流用部分で別々の字に書き換えられていることから見て、  
 双方のルビ担当者は異なる人物だった可能性がある。一方どちらも“丝”を減らして  
 いることから、仮に分業制をとっていたとしてもルビの表記法について担当者間で何らか  
 の共通認識があった様子もうかがえる。

また前述の“米 mǐ”（ミ）はf系特有のルビ用漢字でありながら、混成部分（5例）よ  
 りも流用部分（12例）に多く見られ、後者はすべて“咪 mī”からの書き換えである。こ  
 のケースでも混成部分と流用部分の間にルビに対する共通の意識がうかがえる。

流用部分に比較的多い書き換えにはほかにも以下のものがある。

噢 sōu → 叟 sōu（ソ・ソー）：10例  
 舜（一）nāo → 闹（一）nào（ノ・ノー）：20例  
 吗 ma → 马 mǎ（マ）：16例  
 妈 mā → 马 mǎ（マ）：10例  
 腰（一）yāo → 要（一）yào（ヨ・ヨー）：9例



混成部分には以下のものが比較的多く見られる。

衣 yī → 一 yī (イ) : 11 例

企 qǐ → 七 qī (チ) : 7 例

掏 (一) tāo → 涛 tāo (ト・ト一) : 12 例

逼 bī → 毕 bì (ビ) : 8 例

吗 ma → 妈 mā (マ) : 11 例 (うち 1 例は流用部分)<sup>(14)</sup>

腰 yāo → 要 yào (ヨ一) : 8 例<sup>(15)</sup>

こうした書き換えの理由を特定するのは難しいが、本節に示した例からもうかがえることとして、f 系の書き換えには画数がより少ない字へ改める傾向が見られる<sup>(16)</sup>。

## 2.9. 日本語とルビの不一致や誤読

f 系には単純な誤字脱字を別にして、例文・例語の日本語とルビの表現が一致しないケースや、ルビで誤読をしているケースがあり、その多くは混成部分に見られる。陝西版からそのまま踏襲したものは除き、f 系で新たに生じた例を以下に示す。

### 1) 日本語に誤りがあるがルビは正しい場合

〔お名前はなんとお言いますか  
 ～噢(空一拍)瞎衣妈斯咖。「オッシャイマスカ」(p.5)  
 〔おじやましまして  
 噢加妈西，妈西它「オジヤシ，マシタ」(p.102)  
 〔先生，箸にしますか，これともスプーンですか。  
 ～少来掏毛～「ソレトモ」(p.171)

この文は陝西版 p.202 に由来し、元の文は「それとも」でルビと一致していたが、f 系では日本語が改悪され不一致が生じている。

〔箸です，使いがいいいです。  
 ～此咖医意医代斯。「ツカイイイイデス」(p.171)

この文は陝西版 p.202 に由来するが、元のルビは“此咖医嘎意医代斯”(ツカイガイイデス)で日本語と一致している。f 系ルビの「使いいい」が正しいかどうかは判断が分かれるかもしれないが、「使いいい」よりは不自然さが少ないように思う<sup>(17)</sup>。

### 2) 日本語は正しいがルビには誤りがある場合

〔みなさまよろしくお伝えください  
 ～咬捞西哭，噢此它哀苔，苦搭飒一。「ヨロシク，オツタエテ，クダサイ」(p.7)  
 〔今日は何曜日ですか  
 克腰哇，娜妮要毕呆斯咖。「ナニヨ一ビ」(p.76)

この文は陝西版 p. 111 に由来し、元のルビは“难一腰一逼”（ナンヨービ）で正しかったが、f 系では誤読が生じている。

- 〔1994 年  
〔渗克由夏哭～「センキューシヤク」(p. 77)
- 〔何日ぐらいで届きますか。  
〔～涛涛 ki 妈斯咖。「トトキマスカ」(p. 100)
- 〔入国手続き  
〔牛考哭，苔资疵 ki 「ニューコク，テヅヅキ」(p. 110)

この語は陝西版 p. 151 に由来し、元のルビも“太资资克医”（テヅヅキ）と誤っているが、f 系では誤読がさらに悪化している。

- 〔为替を現金に替えます。  
〔～卡艾里吗丝。「カエリマス」(p. 146)

この文は陝西版 p. 174 に由来し、元の文は「替えます。」でルビと一致していたが、f 系では日本語だけ修正され不一致が生じている。

- 〔えきまでまつすぐに行きなさい  
〔～马 × 思枯妮～「マックスクニ」(p. 129)

この文は陝西版 p. 88 に由来し、元のルビは“马 × 丝估尼”（マックスグニ）で正しかったが、f 系では誤読が生じている（ただしこの例は単純な誤植の可能性もある）。

### 3) 意味に大きな差はないが日本語とルビとで表現が異なる場合

- 〔ふざやざお出迎えいただきありがとう  
〔～噢呆母咖哀奥，以它搭 ki～「オデムカエヲイタダキ」(p. 10)
- 〔このあたりに銀行がありますか  
〔考舜起卡哭妮～「コノチカクニ」(p. 63)
- 〔おいしいです。  
〔噢一西衣。「オイシイ」(p. 89)

この文は陝西版 p. 191 に由来するが、元のルビは“噢衣西一代丝”（オイシーデス）で日本語との不一致はない。

- 〔二万丹〔円〕しか持っていませ人〔ん〕  
〔妮麦恩西卡～「ニマンシカ」(p. 110)
- 〔茶  
〔奥掐「オチャ」(p. 173)

この語は陝西版 p. 188 に由来するが、元は「お茶」でルビとの不一致はない。

4) 日本語とルビとで意味が異なり、ルビの方が中国語訳に合う場合

〔我还能为你做些什么呢？  
 まだこの上に何かできますか  
 ～那尼嘎～「ナニガ」(p. 24)

この文は陝西版 p. 18 に由来するが、元の文は「何が」でルビや中国語訳との不一致はない（ただしこの例も単純な誤植の可能性はある）。

〔请六点叫早  
 六時にモーニングコールして。  
 ～西苔苔搭飒衣。「シテクダサイ」(p. 106)

5) 日本語とルビとで意味が異なり、日本語の方が中国語訳に合う場合

〔十三 十四  
 じふうさん じふうよん  
 三糾 用糾「サンジュー ヨンジュー」(p. 70)

〔今天几月几号？  
 今日は何月何日ですか  
 ～难要毕～「ナンヨーピ」(p. 77)

〔朝南的房间好  
 南向きの部屋がいいです  
 米那米露唉呀～「ミナミノエ〔へ〕ヤ」(p. 104)

〔总共 30 元。  
 ぜんぶで三十元です。  
 ～尼就一哎恩～「ニジューエン」(p. 126)

この文は陝西版 p. 85 に由来するが、元の文では日本語も中国語訳も金額は 20 円で、ルビとの不一致はない。

〔十元  
 じうけん (十元) です  
 纠—萨思～「ジューサス〔ン〕」(十銭) (p. 139)

この文は陝西版 p. 96 に由来するが、元のルビは“纠——该恩”（ジュージェン）で、日本語や中国語訳との不一致はない。

これらの例から、ルビ担当者と日本語の担当者が異なる人物だった可能性が考えられる。またルビ担当者にも多少日本語の知識があった様子がうかがえるが、いずれにせよ担当者間の情報共有や確認が不十分だったため、こうした不一致や誤読がそのまま残ってしまったのではないだろうか。

### 3. f 系の中国語訳の特徴

f 系の例文・例語のうち陝西版に由来するものの中国語訳に着目すると、やはり元の表現との間にさまざまな異同が認められる。これには偶発的な誤植によるものだけでなく、元の誤植に対する修正や表現自体の書き換えもあり、編者が中国語訳に対しても意図的に手を加えたことが分かる。以下に具体例を挙げる<sup>(18)</sup>。

#### 1) 誤植

- 別客气，不用谢。(陝西 p. 9)  
 →另客气，不用谢。(どういたしまして。f 系 p. 19)  
 请问你的名字？(你贵姓？)(陝西 p. 41)  
 →请问你的名子？(お名前は。f 系 p. 43)  
 高粱(高粱 陝西 p. 211) →高粱(高粱〔梁〕f 系 p. 190)  
 师范学院(陝西 p. 214) →师范学习(师范学院 f 系 p. 193)  
 兰〔篮〕球(陝西 p. 219) →篮球(バスケットボール f 系 p. 199)  
 裁判员(審判官 陝西 p. 218) →裁制员(裁制官 f 系 p. 204)  
 洗衣粉(陝西 p. 237) →液衣粉(洗剤 f 系 p. 225)

#### 2) 誤植等の修正

- 今天是期几？(きよろは何曜日ですか 陝西 p. 111)  
 →今天星期几？(今日は何曜日ですか f 系 p. 76)  
 教(陝西 p. 216) →教室(教室 f 系 p. 197)  
 观看体育比塞(陝西 p. 218) →观看体育比赛(体育試合を見る f 系 p. 203)

#### 3) 削除

- 明天很可能是阴天(陝西 p. 52)  
 →明天可能是阴天。(あしたはたぶんくもりでしょう。f 系 p. 17)  
 要(想)喝茶。(陝西 p. 40) →要喝茶。(お茶を飲み〔た〕い。f 系 p. 42)  
 我还没有准备好，让你久等了(陝西 p. 45)  
 →我还沒准备好，让你久等了。(まだ准备〔準備〕ができませんからお待たせしました。f 系 p. 46)  
 票已买好了。(陝西 p. 90) →票已买了。(きつぷはもう买いました f 系 p. 68)  
 现在几点钟？(陝西 p. 113) →现在几点。(いま何時ですか f 系 p. 78)  
 你要喝点什么？(陝西 p. 187) →喝什么？(なにをのみますか。f 系 p. 87)  
 你是坐火车还是乘飞机？(陝西 p. 92)

→你坐火车还是乘飞机？（汽车でそれとも飛行機で行きますか。f系 p.134）

尝尝看（陝西 p.194）→尝尝（食べて見て f系 p.160）

你要汤吗？（陝西 p.185）→要汤吗？（スープにしますか。f系 p.176）

植树造林（陝西 p.210）→植树（植林 f系 p.187）

鸭子（陝西 p.212）→鸭（家鴨 f系 p.192）

#### 4) 追加

涮（陝西 p.194）→涮鍋（しゃぶしゃぶ f系 p.92）

好的，车费多少？（陝西 p.84）

→好的，车费是多少？（いいですよ、いくらですか。f系 p.125）

先生，你要筷子还是勺子？（陝西 p.202）

→先生，你要用筷子还是勺子？（先生，箸にしますか、これともスプーンですか。f系 p.171）

#### 5) 置き換え

您早（早晨好）！（陝西 p.5）→早上好！（おはようございます f系 p.1）

您好！（白天问候语）（陝西 p.1）→你好（白天好）！（こんにちは f系 p.1）

你身体好吗？（陝西 p.12）→您身体好吗？（お元気で [か] f系 p.4）

你多大岁数？（陝西 p.42）→你多大年龄。（おいくつですか f系 p.5）

您住在什么地方？（陝西 p.77）

→你住在哪儿？（お住まいは [は] どちらですか f系 p.11）

真对不起，给你添麻烦了（陝西 p.44）

→实在对不起，给你添麻烦了。（すみませんわ [ね] ご面倒をおおかけました。f系 p.45）

假若你不介意，请稍候（陝西 p.44）

→如果你不介意，请稍候 [候]。（もしきにしなければ、ちよつとまつてください。f系 p.45）

是一支钢笔（陝西 p.55）→是一支钢笔。（これはペンです。f系 p.50）

星期日（日曜日 陝西 p.105）→星期天（（日本語なし） f系 p.72）

欢迎到我们商店来。（いらっしゃいませ。陝西 p.119）

→欢迎光临。（いらつぜませ f系 p.79）

日本菜（日本料理 陝西 p.198）→日本料理（日本料理（和食） f系 p.93）

要价很公道。（ねだんがごうり（合理）です。陝西 p.85）

→要价挺合理。（わだんがでうりです。f系 p.126）

从这里到机场要多久？（陝西 p.85）

→从这里到机场要多长时间? (こちらから空港までどのくらいかかりますか。f系 p. 126)

假如交通不太挤, 只需 10 分钟。(陝西 p. 86)

→假如交通不太挤, 只要 10 分钟。(交通はこまなけば十分だけかかります。f系 p. 127)

先生, 你要去哪里? (陝西 p. 87)

→先生, 你想去哪里? (せんせい, とこへいきますか。f系 p. 128)

#### 6) その他 (全文差し替えや語順変換など)

吃饭啦 (陝西 p. 65) →我吃了。(飯前说) (いただきます f系 p. 5)

杯子 (陝西 p. 201) →陶瓷杯 (汤のみ f系 p. 93)

别担心, 我一向开车很小心。(陝西 p. 84)

→别担心, 我开车一向小心。(ご心配なく, わたしは運転(運転)するのがいつも注意します。f系 p. 125)

## 4. まとめ

本稿ではf系テキストのルビと中国語訳の特徴を探ってきたが, その結果分かったことは以下の通りである。

①ルビの表記法には混成部分と流用部分とで違いがあり, 特に混成部分には陝西版とは異なる方法や文字遣いが見られる。

②混成部分のルビには日本語のアクセントを反映させようとした跡が見えるが, その表記は必ずしも正確ではない。

③混成部分のルビの一部に変遷が見られる。このことからルビの表記法は初めにすべて決めてあったのではなく, 一部は作業の中で試行錯誤しながら変えていったと思われる。またテキストを編集する際には, まず例文・例語の配列を決め, そのあと前から順にルビを振っていったことが推測される。一方で変更の結果生じた複数の表記をあとで統一する手間は省いたようである。

④陝西版から例文・例語を流用する際にルビを頻繁に書き換えている。書き換えた理由は定かでないが, 画数の少ない字への書き換えが多いほか, 日本語のアクセントに合わせた例や, 中国人にとってより馴染み深い字に変えた例もある。また混成部分と流用部分とで書き換え方が異なることから, 双方のルビは別々の人物が振った可能性があるが, その一方で一部の書き換え例からは両担当者のルビに対する共通の意識も垣間見える。

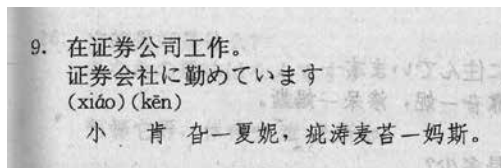
⑤主に混成部分において日本語とルビとの不一致やルビの誤読が見られる。このことか

ら日本語とルビは異なる人物が担当し、ルビの担当者（④で述べたように二人いたかもしれない）にも日本語の知識はあったが、両者の連携不足からこうした不具合が残ってしまったのではないかと考えられる。

⑥陝西版由来の例文・例語の中国語訳にも元の表現との間にさまざまな異同が見られる。そこには新たな誤植だけではなく、誤植に対する修正や表現の書き換えも見られ、編者が中国語訳にも意識的に手を加えたことが分かる。

### 注

- (1) 漢字の横にピンイン（中国式表音ローマ字）で発音を記す。多音字については本文の用例に最も近い音を挙げ、決めがたい場合は仮に一つを示す。  
一部の字は後述するように長音を表す場合もある。また撥音「ㄣ」を含む2拍を表す際にもf系独特の字が使われることがあるが、これについても後述する。  
例示した字のうち“哭”“它”“妮”は流用部分にもわずかに現れる。また後述するように“米”は例外的に混成部分より流用部分で多く使われ、流用部分の用例はすべて陝西版の“咪 mi”からの書き換えである。
- (2) ほかに合成ルビ“七由”（チュー）としての用例が混成部分に1例ある。
- (3) 前稿でも述べたようにf系の例文が常套句の場合、それが本当に陝西版に由来するのか判断しにくい。本稿では両者に一定の類似性があれば暫定的に陝西版からの書き換えと見なす。そのため以下の本文で示す書き換え件数も必ずしも確定的な数値ではない。
- (4) 実際にはピンインは1例を除きすべて漢字の上に置かれている。画像を参照のこと。



- (5) もし xiǎokēn のままで読むと「低高低低」に近くなる。
- (6) 「電話」のアクセントは「低高高」なので、これに合わせればルビは dēn（上昇調）となるはずである。しかし「電話」は丁寧には言えませんが「低高高」だが、実際には「高高高」で発音されることが多い。これは服部 1954 などが指摘しているように、日本語（東京方言）では1・2拍目が「低高」となる非頭高アクセントでも、2拍目が撥音、長音、二重母音の副音の場合は例外的に1拍目から高く発音されるからである。dēn（高く平らな調子）というルビもこれを反映したものであろう。  
なおこれに倣えば上の「証券」も xiǎokēn となるはずだが、こちらは丁寧に読んだ時のアクセントに従っている。
- (7) 同じページに2回以上使われている場合もあるが特に示さない。なお p.4 では先に“可以”が2回使われ、ついで kī が1回使われている。
- (8) 流用部分には長音記号に漢数字“一”をあてる誤植が多数見られる。
- (9) これら以外に上述の kin（キン）がある。
- (10) 上述のように②の“肯”と“吨”には本来の字音とは異なる発音がピンインで併記されて

いる。“难”は18回使用されているうち、最初の方の4例にピンインが併記されている。“桑”は陝西版では“桑一”と㊸タイプで使われている。

- (11) 本節では用字面、表音面での書き換えを取り上げるが、ほかにも例文・例語の読み方や表現自体を陝西版とは変えているケースもあり、それらについては次節を参照されたい。
- (12) 助詞「を」を表す場合や「オー」と長音化する場合も含む。
- (13) 石山1974は『現代漢語外来詞研究』（高名凱，劉正埏，1958，文字改革出版社）に記載された英語由来の音訳語547語とその使用漢字1618字を分析し，“斯”は出現頻度が39回と3番目に高く、音訳に特に好んで使われている文字の一つだとしている。なお“思”は2回の使用が報告されているが，“丝”については言及がない（1回使用字に含まれている可能性はあるが，論文中にデータが示されておらず確認できない）。なお流用部分には“斯”→“思”という書き換えも8例あり，流用部分には“思”への指向が見られる。
- (14) 混成部分にはほかに“马”→“妈”，“骂mà”→“妈”という書き換えも1例ずつあり，“妈”への指向がうかがえる。これに対して流用部分では“马”への指向が見られる。またどちらも“吗”を減らそうとしている点で共通しており，特に混成部分に“吗”はまったく見られない。
- (15) 長音記号の有無を別にすれば“腰”→“要”の書き換えは例外的に流用部分と混成部分の双方に比較的好く現れる。なお流用部分には“克腰一”→“克要一”（キョー）等，拗音を表す合成ルビ内での書き換えも見られる。
- (16) 上掲の石山1974では音訳に特に好んで使われる文字の特徴の一つに字画が比較的少ないことを挙げている。f系における書き換えも同様の考えにもとづいている可能性がある。
- (17) 『現代日本語書き言葉均衡コーパス』では「使いいい」は用例が1例検出できる。なお「使いよい」では6例検出した。
- (18) 日本語は基本的にf系のみ示す。なお例文・例語によっては陝西版からf系の2箇所にも流用され，片方には異同がない場合もある。その場合は異同のある方のみ挙げる。

#### 参考文献

- 石山曙生，1974，「中国語における「借詞」の表記法について—英語よりの外来語を中心に—」，『北海道駒澤大学研究紀要』第8号，駒澤大学北海道教養部ほか，pp.1-16
- 國分建志，2011，「誤植の殿堂『説日語』—その誕生と変遷（一）」，『文學藝術』第35号，共立女子大学文芸学部，pp.15-36
- 國分建志，2013，「誤植の殿堂『説日語』—その誕生と変遷（三）」，『文學藝術』第37号，共立女子大学文芸学部，pp.21-36
- 國分建志，2022，「誤植の殿堂『説日語』—その誕生と変遷（十一）」，『共立女子大学文芸学部紀要』第68集，共立女子大学文芸学部，pp.17-30
- 服部四郎，1954，「音韻論から見た国語のアクセント」，『国語研究』第2号，國學院大學国語研究会，pp.2-50  
（インターネット）
- 国立国語研究所，2011，『現代日本語書き言葉均衡コーパス』（BCCWJ）（検索に「少納言」を使用）（<https://shonagon.ninjal.ac.jp/>）

#### 付記（補足）

前稿 p.52 「5.2. 陝西版の一部を書き換えた可能性があるもの」で，陝西版からf系への書き換



えの可能性があるパターンを4つ示したが、これらのほかに陝西版の例文を分割したようなケースも見られる。以下に例文とともに補足しておく。

東（南、西、北）のほうへいきなさい。（陝西 p.78）

→東のほうへ行きなさい（f系 p.64） + きた みなみ にし（同左）

なおf系 p.119には「東（南、西、北）のほうへいきなさい。」と陝西版をほぼそのまま流用した例文もある。